

1733

PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

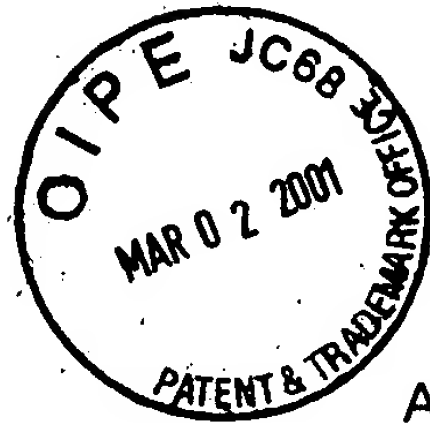
In re the Application of:

Harutomi NISHIDE

Application No.: 09/726,548

Filed: December 1, 2000

For: SEAT BELT STORING STRUCTURE



Attorney Dkt. No.: 107355-00026

RECEIVED
MAR 23 2001
TECHNOLOGY CENTER 1700

RECEIVED

MAR 29 2001

TC 1700

March 2, 2001

CLAIM FOR PRIORITY

Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

The benefit of the filing dates of the following prior foreign application filed in the following foreign country is hereby requested for the above-identified patent application and the priority provided in 35 U.S.C. §119 is hereby claimed:

Japanese Patent Application No. 11-341621 filed on December 1, 1999

In support of this claim, a certified copy of said original foreign application is filed herewith.

It is requested that the file of this application be marked to indicate that the requirements of 35 U.S.C. §119 have been fulfilled and that the Patent and Trademark Office kindly acknowledge receipt of this document.

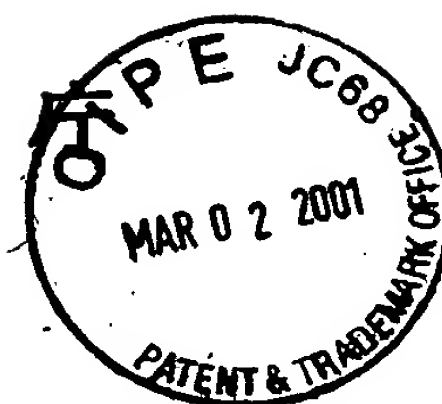
Please charge any fee deficiency or credit any overpayment with respect to this paper to Deposit Account No. 01-2300.

Respectfully submitted,

Charles M. Marmelstein
Registration No. 25,895

ARENT FOX KINTNER PLOTKIN & KAHN, PLLC
1050 Connecticut Avenue, N.W.,
Suite 600
Washington, D.C. 20036-5339
Tel: (202) 857-6000
Fax: (202) 638-4810
CMM/epb

日本国特許
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application:

1999年12月 1日

出願番号
Application Number:

平成11年特許願第341621号

出願人
Applicant(s):

本田技研工業株式会社

RECEIVED

MAR 29 2001

TC 1700

TECHNOLOGY CENTER 1700

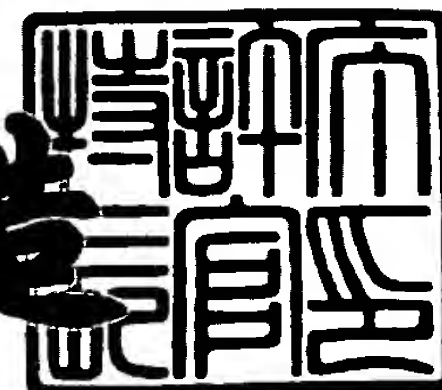
MAR 23 2001

RECEIVED

2001年 1月19日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3113719

【書類名】 特許願

【整理番号】 H099923301

【提出日】 平成11年12月 1日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 B60R 22/00

【発明者】

 【住所又は居所】 埼玉県和光市中央 1 丁目 4 番 1 号 株式会社本田技術研
 究所内

 【氏名】 西出 治宝

【特許出願人】

 【識別番号】 000005326

 【氏名又は名称】 本田技研工業株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100067356

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 下田 容一郎

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 004466

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9723773

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 シートベルトの収納構造

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 シートクッションとシートバックとからなる車両用シートの前記シートクッション背面に、シートベルトの帯及びタングプレートを収納することのできるベルト収納袋を付設したことを特徴とするシートベルトの収納構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はシートベルトの収納構造に関する。

【0002】

【従来の技術】

図 5 は従来のベンチシートの斜視図であり、最大で 3 人が座ることのできるベンチシート 101 には、左の乗員の為のシートベルト 102 と、右の乗員の為のシートベルト 103 と、中央の乗員の為のシートベルト 104 を備え、左右のシートベルト 102, 103 は 3 点式シートベルトと称するものであって着用しないときにはリトラクタ（図示していない）で引き込む。一方、中央のシートベルト 104 は 2 点式シートベルトと称するものであって、着用しないときにはシート収納袋 105 に収納する。

【0003】

このシートベルト収納袋 105 は、シート 101 と同じ表用生地で縫製した袋であり、シート 101 がシートクッション 106 と、このシートクッション 106 の後方に設けたシートバック 107 とからなり、左座席 108、右座席 109 及び中央座席 111 を備えたベンチシートであるときに、従来は、中央座席 111 の座面 112 上にシートベルト収納袋 105 を設ける。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、中央座席 111 の座面 112 にシートベルト収納袋 105 を設けると

、シートの外観性が低下する。また、シートベルト収納袋 1 0 5（空き袋であっても）が尻に触れて着座フィーリングが低下する。

さらに、シート 1 0 1 を前後にスライドさせたり、回転させると、シートベルト 1 0 4 がはみ出す場合や垂れ下る場合がある。

加えて、シートベルト収納袋 1 0 5 をシート 1 0 1 と同じ表生地で縫製する必要がある。そのため、高価な表生地の使用量が増えるとともに、シートベルト収納袋 1 0 5 の縫製工程が必要である。従って、生産コストが嵩む。

【 0 0 0 5 】

そこで、本発明の目的は、シートの外観性及び着座フィーリングを保つことができ、シートベルトのはみ出し防止を図り、生産コストの低減を図ることができるシートベルトの収納構造を提供することにある。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために請求項 1 は、シートクッションとシートバックとからなる車両用シートのシートクッション背面に、シートベルトの帯及びタングプレートとを収納することのできるベルト収納袋を付設したことを特徴とする。

【 0 0 0 7 】

車両用シートのシートクッション背面にベルト収納袋を付設した。シートベルトを着用しない場合は、シートベルトの帯の全てとタングプレートとを一緒にベルト収納袋に収納する。その結果、帯並びにタングプレートがともにシートクッションの上に載らなくなり、車両用シートはシートの外観性を保つ。

また、シートクッション上にもものがないので、尻がものに触れることはなく、シートクッションは着座フィーリングを保つ。

【 0 0 0 8 】

シートクッション背面にベルト収納袋を付設し、ベルト収納袋をシートベルトの下部取付け具に近づけた。その結果、ベルト収納袋に帯の取付け部近傍まで入れることができ、シートベルト（帯）のはみ出しが起きない。

さらに、ベルト収納袋はシートクッション背面にあり、表に出ないので、化粧用の表生地を用いる必要がなく生地グレードを下げるができる。従って、

生産コストの削減につながる。

【0 0 0 9】

【発明の実施の形態】

本発明の実施の形態を添付図に基づいて以下に説明する。なお、図面は符号の向きに見るものとする。

図 1 は本発明に係るシートベルトの収納構造を備えたシートの斜視図であり、車両用シート 1 1 は、シートクッション 1 2 と、このシートクッション 1 2 の後方に設けたシートバック 1 3 とからなるベンチシートである。1 4 は左座席用のシートベルト、1 5 は右座席用のシートベルト、1 6 は中央座席用のシートベルト、1 7 はシートクッション後部である。

【0 0 1 0】

シートクッション 1 2 は、左座席 2 1、右座席 2 2 及び中央座席 2 3 を備え、シートクッション背面 2 4 にベルト収納袋 2 5 を付設したものである。

【0 0 1 1】

シートベルト 1 6 は、シートクッション 1 2 の背面下部に取付けた下部取付け具 2 6 と、この下部取付け具 2 6 に一端を取付けたシートベルトの帯であるところのウエビング 2 7 と、このウエビング 2 7 の他端に取付けたタングプレート 2 8 と、このタングプレート 2 8 を結合するバックル 2 9 と、を備えた 2 点式シートベルトである。なお、シートベルト 1 6 を着用す場合は、ベルト収納袋 2 5 から矢印の如く引き出す。

ウエビング 2 7 は、繊維材質で作った帯状のものである。

【0 0 1 2】

図 2 は図 1 の 2 矢視拡大図であり、ベルト収納袋 2 5 内にシートベルト 1 6 のウエビング 2 7 及びタングプレート 2 8 を収納し、シートクッション 1 2 のカバー部 3 1 で一部を覆った状態を示す。

なお、収納するときは、タングプレート 2 8 を芯にしてタングプレート 2 8 にウエビング 2 7 を巻き付け、一体的にした状態でベルト収納袋 2 5 内に入れる。

【0 0 1 3】

ベルト収納袋 2 5 の長さは、タングプレート 2 8 にウエビング 2 7 を巻き付け

た際の寸法に、指の出入れが可能な余地寸法を加算した程度が望ましい。

カバー部 3 1 を設けることで、余地部分を覆うことができ、シートの外観性が向上する。

【 0 0 1 4 】

図 3 は図 2 の 3 - 3 線断面図であり、シートクッション 1 2 とシートバック 1 3 とからなる車両用シート 1 1 のシートクッション背面 2 4 に、シートベルト 1 6 及びタングプレート 2 8 を収納することのできるベルト収納袋 2 5 を付設し、シートクッション 1 2 の後方にシートクッション後部 1 7 を配置したことを示す。

【 0 0 1 5 】

シートクッション後部 1 7 は、パイプ 3 5 と、このパイプ 3 5 に取付けた下部取付け具 2 6 と、これらのパイプ 3 5、下部取付け具 2 6 を覆うカバー 3 6 と、このカバー 3 6 の前側面 3 7 に形成したベルト収納袋 2 5 と、を備えたものである。

【 0 0 1 6 】

ベルト収納袋 2 5 の深さは、タングプレート 2 8 を基準とし、タングプレート 2 8 が完全に収まる寸法である。また、幅は、タングプレート 2 8 にウエビング 2 7 を巻き付けた際の寸法とほぼ同じである。その結果、ベルト収納袋 2 5 の省スペース化を図ることができ、快適性を保つことができる。

【 0 0 1 7 】

以上に述べたシートベルトの収納構造の作用を次に説明する。

図 4 は本発明に係るシートベルトの収納構造の作用図である。

シートベルト 1 6 のバックル 2 9 からタングプレート 2 8 を想像線のように取り外し、タングプレート 2 8 を芯にしてウエビング 2 7 を矢印①の如く巻き付け、ベルト収納袋 2 5 に至るまで巻き取り、ウエビング 2 7 及びタングプレート 2 8 をベルト収納袋 2 5 に収納する。

【 0 0 1 8 】

ベルト収納袋 2 5 をシートクッション背面 2 4 (図 3 参照) に所定の寸法で付設したので、ウエビング 2 7 の全体及びタングプレート 2 8 の全体をシートクッ

ション 1 2 の背面に収納することができる。その結果、シートクッション 1 2 の左座席 2 1、右座席 2 2 若しくは中央座席 2 3 の上にシートベルト 1 6（ウエビング 2 7 並びにタングプレート 2 8）が出ることはなく（図 1 参照）、シートクッション 1 2 の外観性を保つことができる。

また、シートベルト 1 6 を着用した後にシートクッション 1 2 の上には何も残らないので、シートクッション 1 2 の着座フィーリングを保つことができる。

【0 0 1 9】

さらに、ベルト収納袋 2 5 をウエビング 2 7 の一端を取付ける下部取付け具のそばに設けたので、ウエビング 2 7 の全長を巻き取り、収納することができる。その結果、シートベルト 1 6（ウエビング 2 7）のはみ出し防止を図ることができる。

【0 0 2 0】

その上、ベルト収納袋 2 5 をシートクッション背面 2 4（図 3 参照）に付設したので、ベルト収納袋 2 5 が視野に入ることはない。従って、ベルト収納袋 2 5 に高価な表地を用いる必要がなく、生産コストの低減を図ることができる。

【0 0 2 1】

尚、本発明の実施の形態に示した図 1 のベルト収納袋 2 5 を右座席 2 2 側から左座席 2 1 へ変更することも可能である。

図 1 のベンチシートは一例であり、6：4 分割が可能なシートやセパレートシートにも採用可能であり、シート形状や機能（リクライニング調整式、取り外し式、折りたたみ式等）を限定するものではない。

また、図 3 のベルト収納袋 2 5 をシートクッション 1 2 の背面に直接形成することも可能である。

【0 0 2 2】

【発明の効果】

本発明は上記構成により次の効果を発揮する。

請求項 1 では、シートクッション背面にベルト収納袋を付設したので、シートベルトの帯及びタングプレートの全体を収納することができる。その結果、未着用の場合、シートクッションの上にシートベルトの帯及びタングプレートが出る

ことはなく、シートの外観性を保つことができる。

【0023】

また、シートクッション背面にベルト収納袋を付設したので、シートベルトを着用した場合、従来のようにシートクッションの上に空き袋が残ることはなく、尻に違和感を感じるようなことはない。その結果、シートの着座フィーリングを保つことができる。

【0024】

さらに、シートクッション背面にベルト収納袋を付設したことによって、同時に、ベルト収納袋をシートベルトの帯の一端を取付ける下部取付け具のそばに形成することができる。その結果、シートベルトの帯の全長を巻き取ることができるとともに、シートベルトの帯の全体を収納することができる。従って、シートベルトのはみ出し防止を図ることができる。

【0025】

シートクッション背面にベルト収納袋を付設することで、ベルト収納袋を死角に入れる。従って、高価な表地を用いる必要がなく、生産コストの低減を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明に係るシートベルトの収納構造を備えたシートの斜視図

【図2】

図1の2矢視拡大図

【図3】

図2の3-3線断面図

【図4】

本発明に係るシートベルトの収納構造の作用図

【図5】

従来のベンチシートの斜視図

【符号の説明】

11…車両用シート、12…シートクッション、13…シートバック、16…

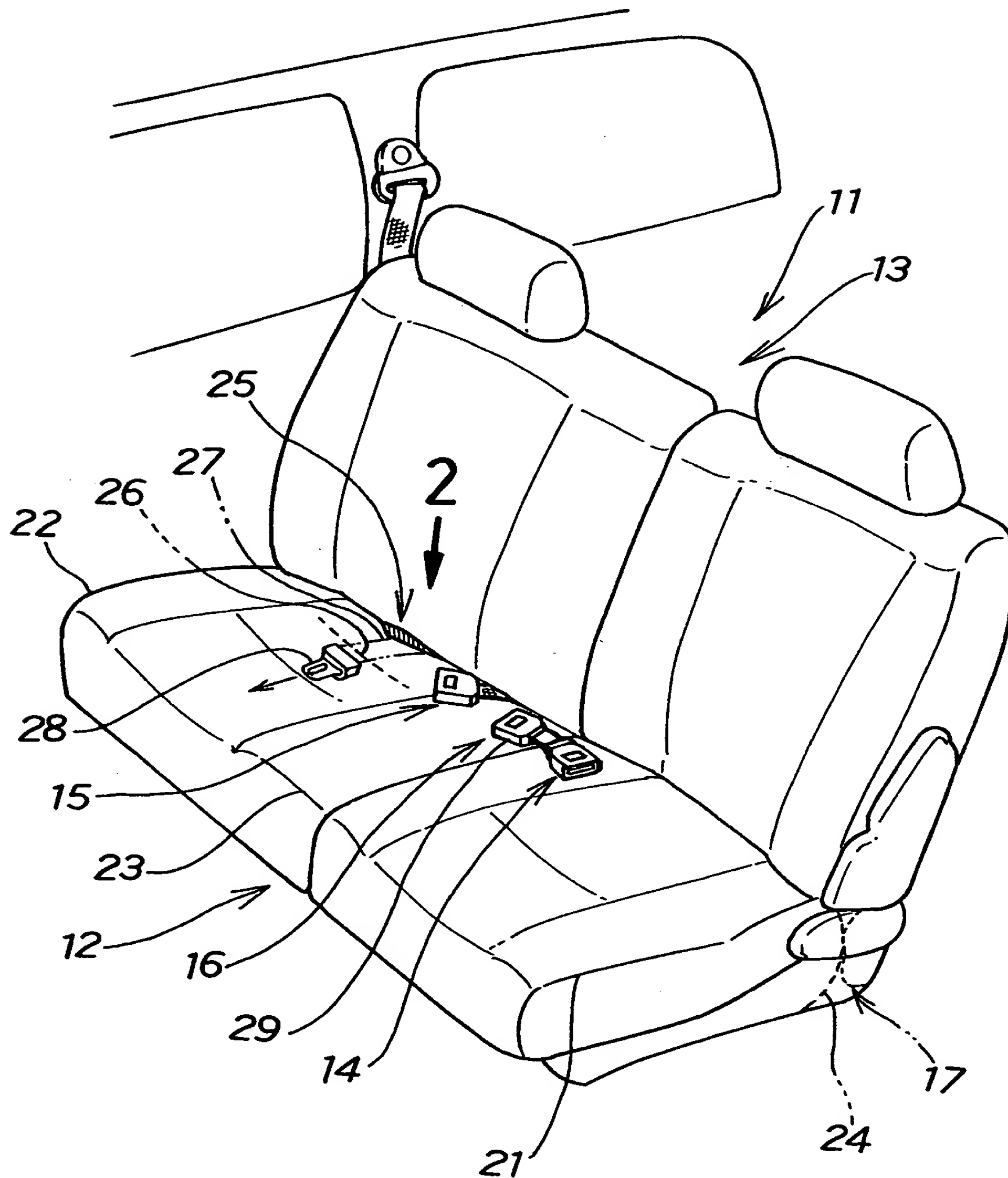
特平 1 1 - 3 4 1 6 2 1

シートベルト（中央座席用のシートベルト）、24…シートクッション背面、25…ベルト収納袋、27…シートベルトの帯（ウエビング）、28…タングプレート。

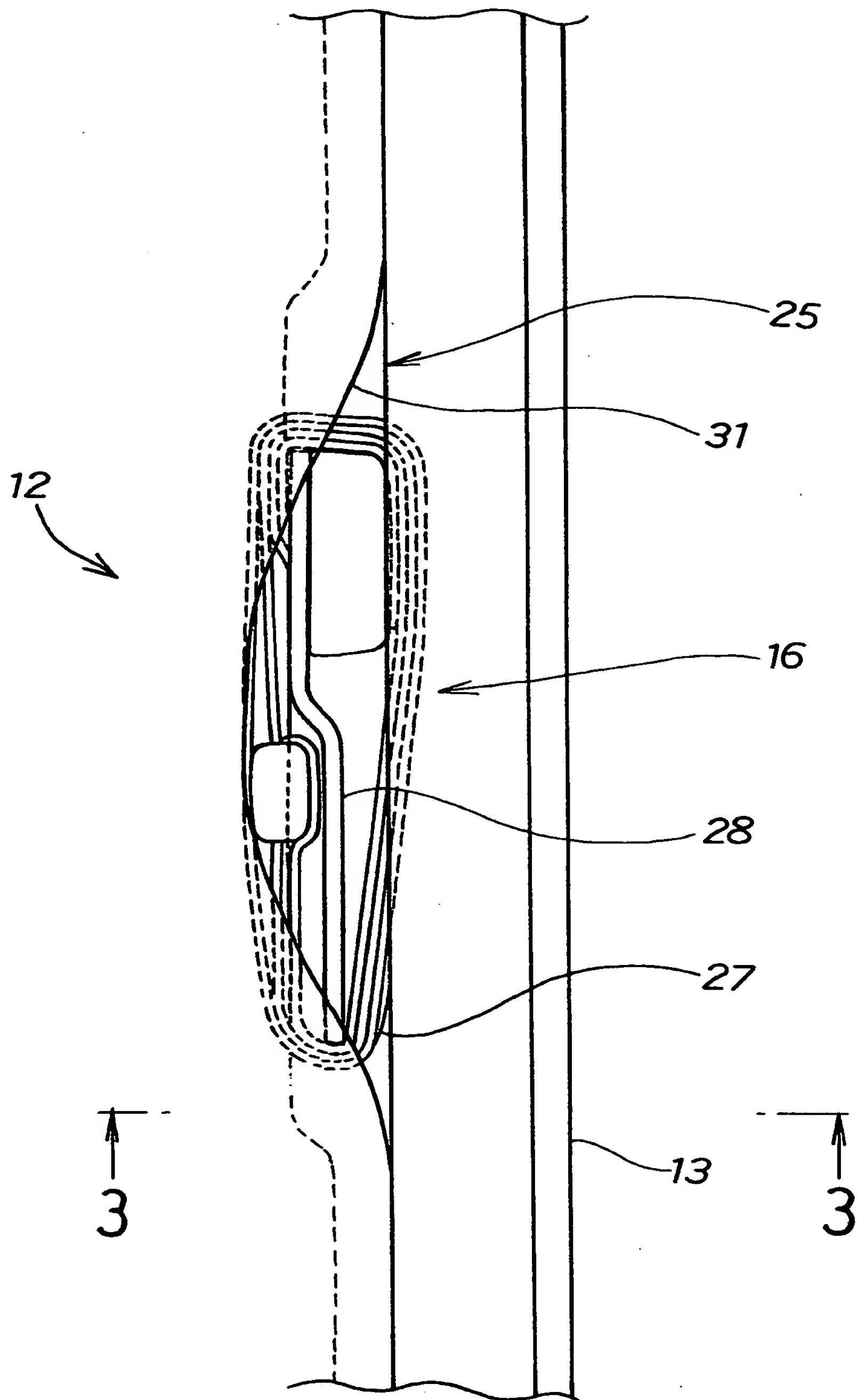
【書類名】

図面

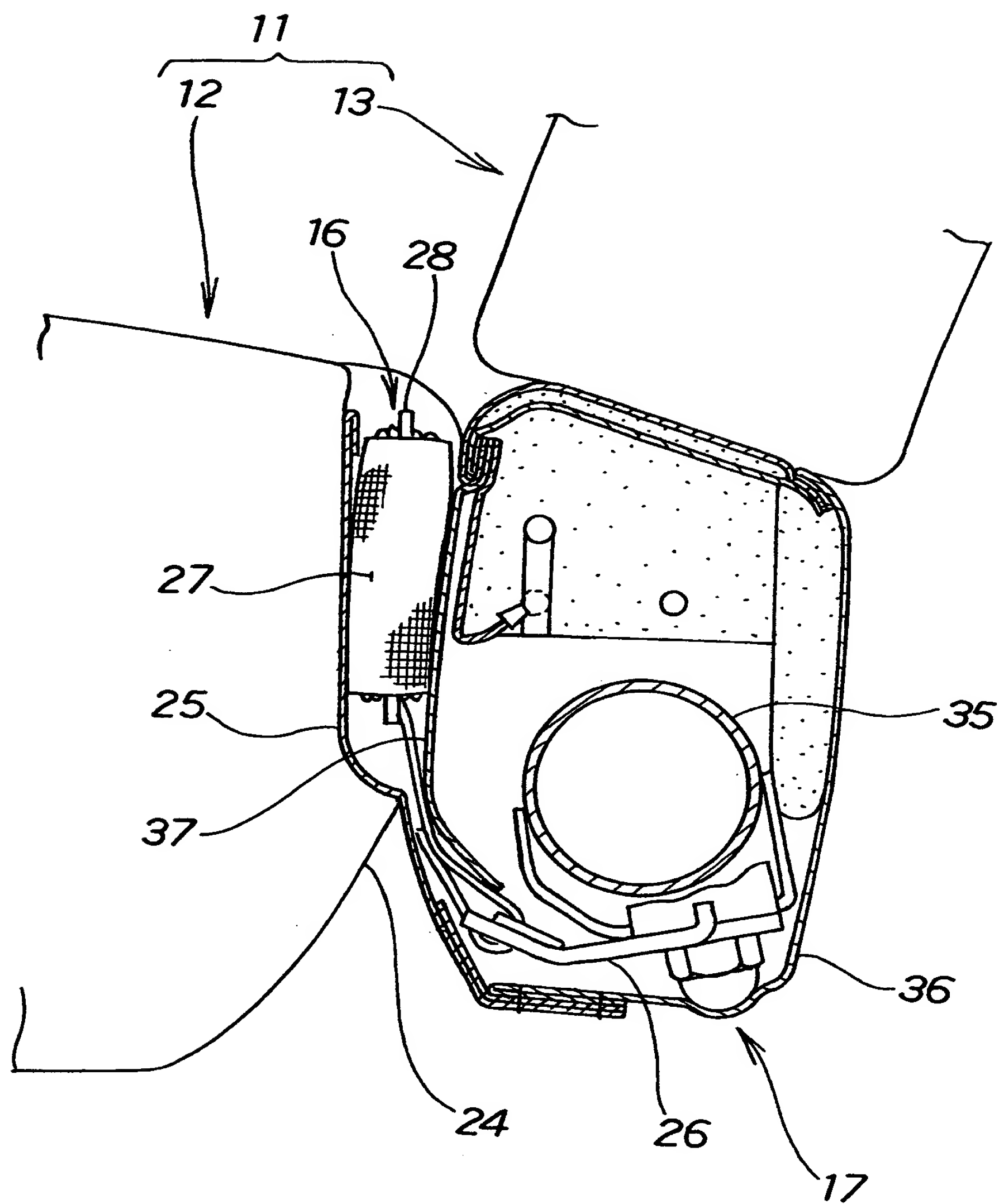
【图 1】



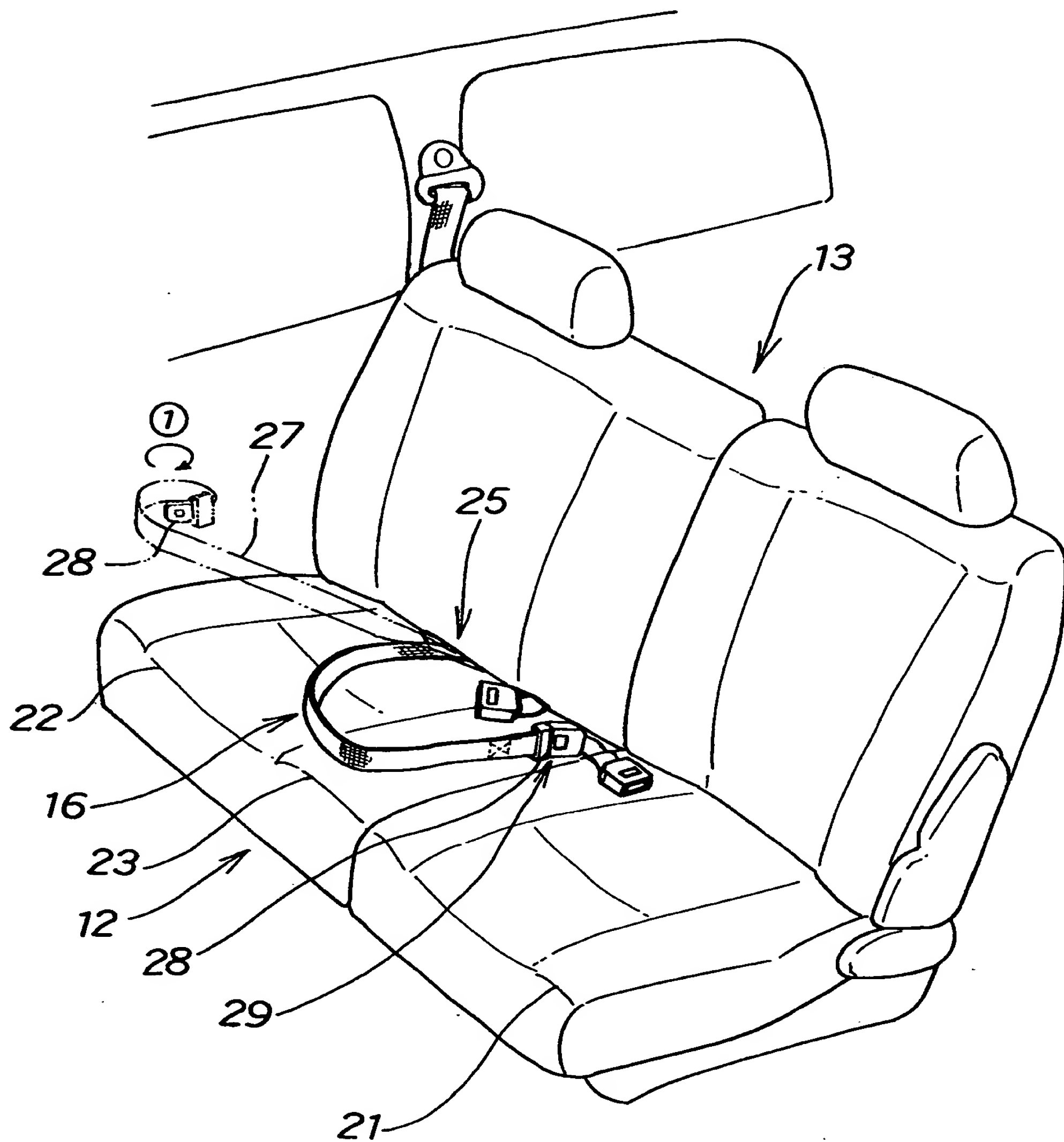
【図 2】



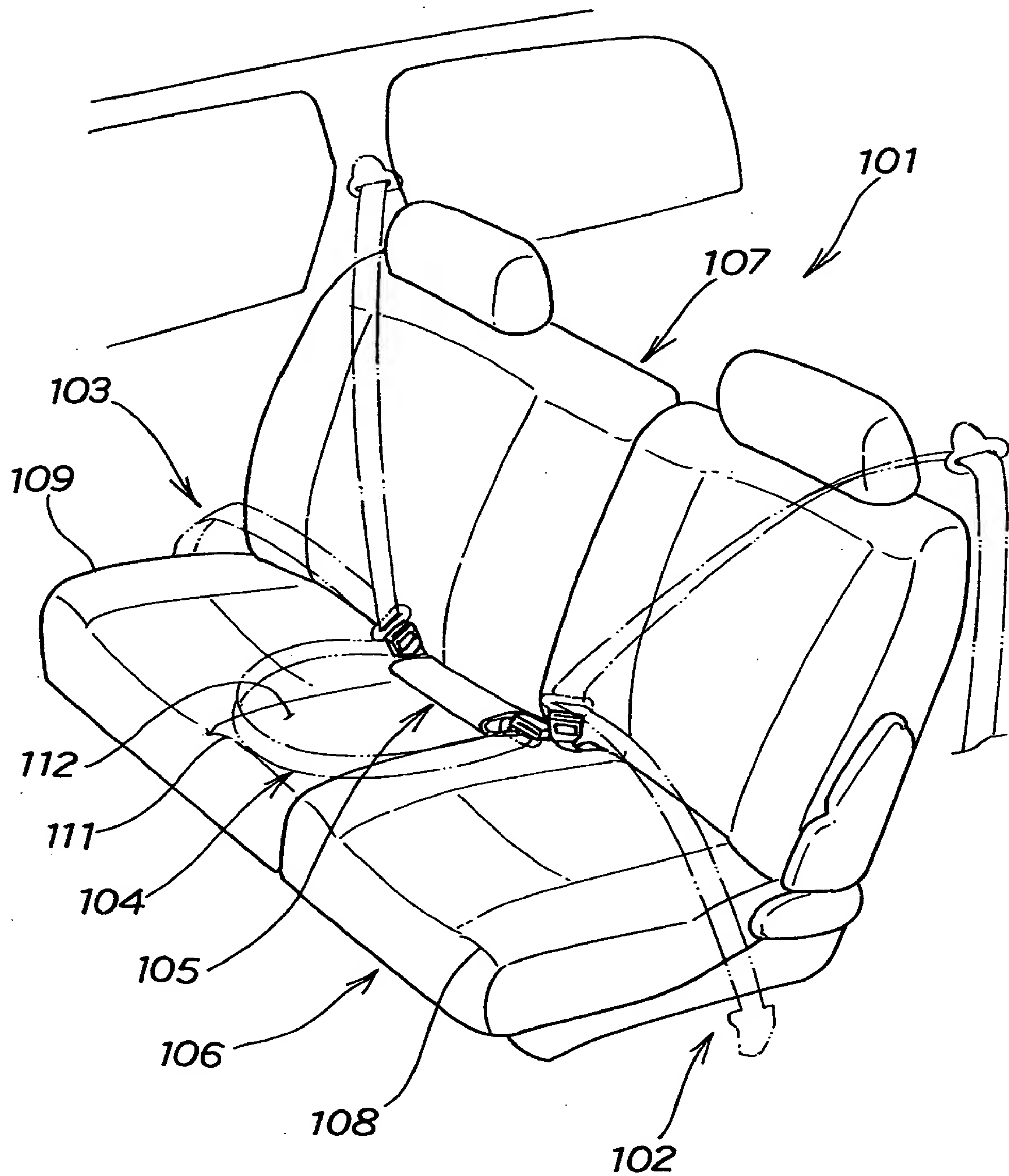
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【解決手段】 シートクッション 1 2 とシートバック 1 3 とからなる車両用シート 1 1 のシートクッション背面 2 4 に、シートベルト 1 6 の帯及びタングプレート 2 8 を収納することのできるベルト収納袋 2 5 を付設した。

【効果】 シートクッション背面にベルト収納袋を付設したので、未着用の場合、シートクッションの上に帯及びタングプレートが出ることはなく、シートの外観性を保つことができる。着用した場合、シートの着座フィーリングを保つことができる。ベルト収納袋を下部取付け具のそばに形成することができ、帯の全体を収納し、シートベルトのはみ出し防止を図ることができる。ベルト収納袋を死角に入れることで、高価な表地を用いる必要がなく、生産コストの低減を図ることができる。

【選択図】 図 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 5 3 2 6]

1. 変更年月日 1 9 9 0 年 9 月 6 日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区南青山二丁目 1 番 1 号

氏 名 本田技研工業株式会社